

令和 5 年度第 3 回松江市立法吉小学校学校運営協議会会議録

1 日 時

令和 6 年 2 月 20 日（火）13：40～14：25 授業視察

14：35～15：35 協議等

2 場 所

法吉小学校 会議室

3 出席者

(1) 委 員 若林三成会長、井田良江副会長、木次三八郎委員、安達卓生委員、

松浦ぎん子委員

(2) 事務局 糸賀校長、常松教頭、野津主幹教諭、松本主事、土肥地域学校協働活動推進員

4 議 題

(1) 会長あいさつ

(2) 学校評価について

(3) 学校支援ボランティア活動について（報告）

(4) その他

(5) 校長あいさつ

5 議事の要旨

(1) 会長あいさつ

若林三成会長より

(2) 学校評価について

糸賀校長より

(3) 学校支援ボランティア活動について

土肥地域学校協働活動推進員より

(4) その他

事務局より

6 会議経過

(1) 若林三成会長よりあいさつ

(2) 糸賀校長より、令和 5 年度学校評価について資料を基に説明があった。

《下記、委員からの意見》

① あいさつの評価が昨年度から下がったのは、コロナ禍で学校と地域の交流が減ったか

らではないか。交流がまた増えれば、上がるのではないか。

- ② 「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活習慣については、学校が管理することではなく、家庭で身につけていくことであり、保護者がこれを低く評価していることは自分たちへの評価ではないか。食べ物の好き嫌いも、学校の食育とは違う。家庭でお願いすること、学校で指導していくことは分けて考えるべきではないか。学校で果たすべき役割については、良い評価をもらっているように思う。評価結果について、すべて学校の責任のように学校が背負うことはないのではないかと思う。

あいさつについても、家庭であいさつする習慣が身につけている子ができると思う。

時代や環境が変わったせいもあるだろうし、学校だけの責任ではないと思う。

- ③ 毎年行われる学校評価について、毎年マイナス点について改善を考えているが、学校は丁寧に学校運営に取り組んでいるように感じる。法吉小は良いよねという評価になるような問い方をしてはどうか。例えば「気持ちのよいあいさつができるか」ではなく「あいさつはできているか」など。良い評価につながるよう問えば、良い結果が得られ、良い雰囲気になりもっと前向きになれるのではないか。
- ④ 2月から時程の変更があり、下校後の時間が有効活用できるのではないかと考えた。下校時間を早めることで教員の働き方改革に繋がるのではないかと考えた。
- ⑤ 授業の準備等、下校後の時間は教員にとって大事な時間だと思う。先日のニュースで授業時間を短くしてコマ数を増やすという案を聞いた。このことは、働き方改革に逆行しているように感じた。

(4) 学校支援ボランティア活動について

土肥地域学校協働活動推進員より、3月1日付で配布される一期一会の写真を見ながら、活動報告があった。

(5) その他

事務局より、来年度の法吉小学校学校運営協議会委員を引き続きお願いしたい旨、委員へ依頼した。